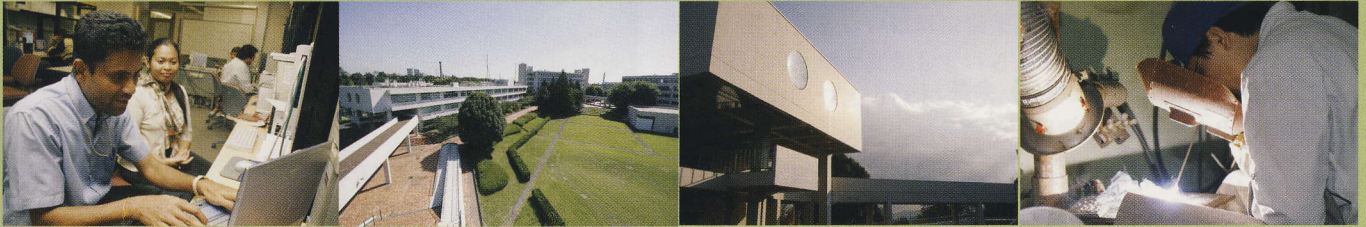


滄水会ニュース

職業能力開発総合大学校同窓会誌
〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1
職業能力開発総合大学校内 滄水会事務局
Fax : 042-763-9267
E-mail: sousuikai@uitek.ac.jp
URL: <http://www.uitek.ehdo.go.jp/>



March 31th, 2006. Volume XVIII

新会長あいさつ

昨年10月に開催された定期総会において、新しく、日本電産株式会社取締役副社長の小部博志氏＝写真＝が、新会長に選出されました。新会長には、国内外のグループ企業110社と従業員10万名余を統括するナンバー2の要職にある多忙な身でありながら、あえて本会会長にご就任いただきました。



これまで二期6年間滄水会会長を勤められました日本電産（株）社長永守重信様（第3期電気科卒）の後任として、この度滄水会会長にご推挙戴きました。1971年（昭和46年）母校を卒業し、73年永守先輩が日本電産（株）を創業される際に参画させて戴き、今年で34年目を迎えております。多くの卒業生が職業訓練業界で活躍されておられますが、90年代に入り日本経済のバブルが崩壊し、金融機関が破綻、更には国内製造業の海外進出に伴うリストラが吹き荒れ、一方でIT産業が大きく成長しているという今日、こ

れまでの教育や学校運営のあり方が問われています。同じように滄水会の運営についても今後見直されるかもしれませんが、全力を尽くす所存でありますので何卒ご支援の程お願い申し上げます。

小部 博志（こべ・ひろし）

昭和24年3月 福岡県に生まれる

昭和46年3月 職業訓練大学校(現・職業能力開発総合大学校)
第一電気科卒業

昭和48年7月 職業訓練大学校での先輩永守重信氏（滄水会
前会長）の日本電産株式会社設立に参加、
現在同社取締役副社長

通常総会報告

2005年通常総会は、10月23日（日）東海大学交友会館（霞ヶ関ビル33階）において開催されました。永守会長の挨拶に引き続き、議長団を選出し議事審議が行われました。ここでは、紙面の都合上、議事要約を報告いたします。

1. 開会の辞

2. 会長挨拶 永守重信（一電3）会長

3. 議長団選出：議長・久下靖征（塗装2）、 副議長・赤松明（木工10）、 書記・水島克典（建築23）

4. 定足数確認：出席者77名、委任状1500通 （総数6500名の1/10以上で成立）

5. 議事

1) 1号議案：事業活動報告…承認

主な活動：①滄水会ニュース第17号発行、

②滄水会賞授与式を卒業式直後から卒業式中に変更

③会長、副会長は卒業式、入学式に出席登壇

④滄水会名簿発行休止

⑤滄水会ホームページの試験的運用開始

⑥卒業生への入会案内実施等

2) 2号議案：会計報告…承認

会計期間2002/10/01～2005/09/30の会計報告、

①郵便局→郵政公社の変更、通帳一本化、②保障限度額

滄水会通常総会



ユーモアを交えながら挨拶される永守重信前会長＝東海大学交友会館 2005/10/23

①滄水会ニュースの発行：Vol.14～17までの上場企業へのニュース送付は一定の成果を得られたのでVol.18からは中止、会員への送付のみ、

②名簿の充実：2005年施行の個人情報保護法への対応、名簿データベースの確度向上への対応を実施、その上で発行可否、方法・時期を次期理事会に一任

5) 5号議案：予算案…承認

会計期間2005/10/01～2008/09/30の予算案提示、滄水会ニュースの上場企業送付費用分をホームページ調査費用として計上等

6) 6号議案：役員改選…理事会提出の候補者案（下表参照）

◎新役員一覧（任期：2005/10～2008/9）

会 長 小部博志（一電 7）

副会長 稲垣雅穂（一電 5）、服部信治（建築10）、荒 隆裕（電気13）

理 事 平塚剛一（機械10）、磯野宏秋（機械11）、福島政次（金材14）、山下陽一郎（運輸16）
菊池 真（情報28）、池田知純（福祉31）、福岡克弘（電気30）、川上善嗣（建築32）
澤 武一（生機35）

会計監査 鈴木重信（機械10）、菅野恒雄（二電11）

により特別会計の分散預金化

会計監査報告：前川秀幸（建築15）より適正に処理されているとの報告

* 意見として、入会金未納入者への督促等への適切な対応が要望された

3) 3号議案：会則変更（3）…承認

①滄水会顧問の設置：第14条、理事職務補佐役の書記を顧問に変更、②総会定足数の改定：第18条、正会員の1/10以上を1/15以上に変更

4) 4号議案：事業計画…承認

6. 議長団解散

7. 新役員挨拶 小部博志（一電 7）新会長

8. 閉会の辞 終了後、別会場 において懇親会



岡田機構理事長（中央後ろ姿）を囲んでの懇親会風景（写真→）

【補足説明】

(1) 滄水会名簿発行について

滄水会会則は第4条、5条において「会員相互の親睦と誘掖を図るために会員名簿を発行する」こととしているが、2005年4月に施行された個人情報保護法では、個人が特定できる情報は適正な取得及びその利用目的と範囲について了解を要求しており、本人の同意を得ずに第三者に提供することを禁止している。また、収集した個人情報の安全管理のために必要な措置を講じ、委託する場合は委託先に対し必要な監督を行なうことを求めている。加えて、本人の求めに応じて保有データを開示、訂正、利用停止等を行わなければならないとしている。

この法律は5000人以上の個人情報を収集・利用する組織・団体を対象としており、会員数6500名を超える滄水会も対象となる。また、違反した場合は勧告や命令を受け、改善がみられない場合は罰則（6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金）を受ける。

以上のことから、2005年会員名簿発行は理事会判断で発行を中止した。

しかしながら、滄水会会員にとって名簿は会員相互の有益な情報であり発行を求める要求も少なくない。特に、勤務先情報は在校生にとって就職活動には欠かせない情報ともいえる（この場合、利用範囲の了解が必要）。

一方、会員数の増加とともに、会員の異動情報の取得、修正等は容易ではなく会員データベースの正確さを維持することは難しくなっている。今回の通常総会案内の送付では、約4500通発送し返事は1600通、転居先不明等600通であり、実家・未返送・転送中等行方不明は50%に及ぶ。そし

て、この案内送付に約100万円の費用がかかっている。このことから、会員データベースの確度を維持しての保有には金銭的にも方法的にも厳しい状況である。

そこで、名簿発行に関する判断は総会決議に従うこととなった。総会決議は名簿データベースの確度向上を図り、合わせて会員の情報掲載に関する同意範囲を確認の上、名簿発行の可否及び可の場合の方法・時期についての判断を理事会に委ねることとなった。

(2) 滄水会ホームページの開設、運用について

滄水会あるいは母校職業能力開発総合大学校を取り巻く状況は時々刻々変化している。また、滄水会会員のほとんどは情報取得方法のひとつにインターネット利用をあげると推測できる。このことを受け以前から理事会は滄水会ホームページの開設・運用を検討してきたところであるが、2005年度から総合大のサーバを利用して開設できることとなった。

そこで、総会にホームページの試験的運用開始を報告するとともに、各種情報の掲載開始に関する了承を得て、次回滄水会ニュースで運用開始を周知することとした。

滄水会ニュースの上場企業への送付中止、会員データベースの高確度での維持管理の難しさ、会員数増加に伴う通信費の増大、会員相互の親睦と情報交換等々、環境はホームページ開設・運用を至急の要求としているが、一方で、情報の管理や更新等をどのように行うか、一般の利用可能範囲と会員限定情報の内容等々難しい問題も山積している事実もある。そこで、滄水会ホームページの運用と滄水会活動及び情報の収集・掲載範囲等については、次期理事会で研究しながら決めていくこととなった。

■ 滄水会ホームページ (<http://www.uitec.ehdo.go.jp/>)

通常総会記念講演「プロデューサーからみた技の世界」

講師：プロデューサー 残間 里江子氏（＝写真）



残間さんは、あの山口百恵さんの著書「蒼い時」をプロデュースした人です。静岡放送アナウンサー、「女性自身」記者、雑誌「Free」編集長などを経て、80年に株式会社キャンディッド・コミュニケーションズを設立。出版や文化イベント等を多数企画・開催されています。2001年には、小泉純一郎総理大臣をはじめとする、各界で活躍する119人のパネリストを集めてのトークフォーラム「大人から幸せになろう」を自主企画事業として実施し、大人たちの新しい生き方を探り、多くの反響が寄せられました。

新しい価値観を創造したり、さまざまな価値観を編纂して、その時代時代のアクセントをつけて世に送り出すことがプロデューサーの役割と認識しておられる残間さんに、「プロデューサーからみた技の世界」というテーマで

講演して頂きました。2007年11月に静岡県で開催されるユニバーサル技能五輪国際大会の総合プロデューサーとして、ものづくり立国日本を精力的に研究されている中で、「人が技を習得するプロセスに光をあて、ものづくりの本質を顕在化し、それをいかに伝えるか」に興味を持っていらっしゃるとのことでした。

また技の話のほか、新著「それでいいのか 蕎麦打ち男」（新潮社）をネタに、会場の国魂の世代を前に「蕎麦打ち」「NP O」「陶芸」「世界遺産巡り」「ヨン様の追っかけ」「孫転がし」そんなものに興じている暇はない。主役に踊りでる最後のチャンス逃がすな！と叱咤激励されました。

シリーズ：ものづくりに学ぶ「技術・技能の道」

平成12年度卓越技能者 遠藤 修（受賞時、日立東京エレクトロニクス株）＝写真＝



私が45年間歩んできた技術・技能の道を振り返ってみると、それは飽くなき精度限界への挑戦でありました。時代が新たな課題を与え、その解決のために技術・技能と知恵と新たな発想で克服してきましたが、この道には

ゴールはなく、昨日より今日、今日よりは明日と未来永劫に進歩し続けています。だから、これからも体験し修得してきたことを基に、さらに努力していきたいと思っています。

45年間の歩み

父が技術・技能系の仕事に従事していたこと、学校に求人募集があったこと、家から近いこともあり、中学卒業とともに日立製作所中央研究所に希望して入社しました。中央研究所の技能養成生の第1期生であり、最初の1年間は日立製作所戸塚工場で技能教育を受けました。2年目に中央研究所に戻り、機械工作課に配属されました。ここは最先端の研究・実験装置を開発、製作する部署で、超精密の機械加工、高度な熟練技能が要求される職場でした。

第1期生のため教育方法も決まっておらず、最初は先輩の仕事を見て覚えるという徒弟制度的な方法でした。先輩の機械の清掃、切粉の片付け、バイトも鍛冶屋をして自分で作りました。夏暑く、冬寒い中、技能者としての基礎を叩き込まれましたが、これが後々の原動力になりました。

昭和39年（1964）に中央研究所では合理的な教育を実施することにより、30歳以下の若年技能者が自ら目標を設定し、技能レベルの向上を図るための取り組みとして、所内技能競技大会が始まりました。また、その翌年からは若年者の早期技能レベルの向上を目的とした技能五輪訓練（旋盤職種）が始まりました。そんな中、私自身も昭和42年から始まった日立製作所会社技能競技大会旋盤職種で優勝することができました。

その後、高等学校で学び、知識に裏付けられた高度な技術・技能の大切さ、必要性を認識しました。また、上司、先輩からの薦めと期待もあり、技術・技能の道を究めることを決断しました。

そして、迷いのない心を持って精密加工への挑戦が始まりました。旋盤加工、研削加工及び研磨加工（ラッピング）の技能を修得し、挑戦する加工精度もミクロン、サブミクロンから超精密のナノの世界へとますます難しくなってきました。

た。その中で、難問を克服し完成した時のものづくりの喜びを知り、失敗して不良品を作ったときの悔しさを体験し、その悔しさをバネに新たな挑戦をし、半導体、理化学、情報・通信、医療分野の研究に使用する数多くの高性能研究実験装置の開発、製造に従事し成果をあげ業績向上に寄与しました。

ルーリングエンジン（回折格子刻線装置）の開発では、主ねじのラップ技術の確立により600本/mmを実現しました。この技術・技能は、その後宇宙でX線を計測する分光器としてスペースシャトルにも搭載されNASAから高い評価を受けました。ラップ面盤の考案では、大阪万国博覧会に日立製作所が展示したレーザーテレビの開発に寄与しました。大阪大学に納入された300kVの超高圧電子顕微鏡の分解能は電子レンズ加工（切削加工、ラップ加工）技能によって実現されました。超精密平面研削盤は、空気軸受で、空気圧で浮上する非接触方式により超精密が可能となりました。半導体露光装置用ウエハチャックの開発は精度50nmを実現しました。これらは計測と加工に関する総合的な高い知識と技術・技能があって始めて実現できたものでした。そして、これらの成果が認められ各種の表彰を受けましたが、2000年の現代の名工（卓越した技能者の労働大臣表彰）受賞は私の45年の歩みの集大成となりました。これらの受賞は自分ひとりの力で実現できた訳ではなく、よき上司と周りの多くの人達の指導と協力があって初めて実現したものであり、感謝の気持ちを持って今後も日々努力をするとともに、職業能力開発総合大学校をはじめとして、各所で後進の指導・育成にも尽力しております。

技術・技能とは

技術は物の仕組みを考え出すものであり、技能はその仕組みを実際の物として形に現すものと考えています。そして、技術はその仕組みに必要な機能実現のために、技能に高精度化という新たな課題を要求してきます。技能者はその課題の解決のために、知恵と新たな発想で試行錯誤を繰り返し、やがて克服します。

例えば、細長い高精度のねじを加工する時、加工熱による変形の影響でピッチ誤差が出るのを防ぐために、一昼夜かけて温度環境を安定させてから加工することによってピッチ誤差を減少させることができます。また、ウエハチャックの開発では、加工時のそり（変形）を調べ、予め工作物にそりを与え、加工時に生じるそりと相殺することで平面度を確保します。

これらは一朝一夕には身に付くものではありません。また

時間をかければ誰でも身に付けられる保証があるわけでもありません。高度な技術・技能を修得するためには、心構えが大切であると思います。好奇心、感動する心、挑戦する心、妥協しない心、いいものを作ろうとする心などです。なぜならば、心が決まれば、技は自ずとついてくるものであると思うからです。人は心臓が動いていて、脳が命令して、筋肉が全身を動かしていますが、その大元の脳に動けという指令を出すのは、実は心なのです。心が決まれば、もう迷いはなくなり、その道一筋に進むことができ、先輩や厳しい仕事の中から多くことが自然に吸収、習得でき、それを自分の方式で整理することによって、センス（感性）が身に付き、センスが身に付けばその技術・技能の本質が見えてくるからです。もちろん、何を行なうにも体力は必要であり、常にベストコンディションを保つ努力はしなければなりません。

また、チャンピオンデータを要求されるような高精度なものの（装置）を作るには、どんな技能を使えばよいかが発想でできることも大切です。それは、ダイヤモンド砥粒によるラッピングのような原始的な方法の応用かもしれません。

技能者の仕事は決して楽ではありません。下積みの目立

たない仕事である場合が多いです。だから、心が決まらないと、高度な技能は身に付かないのではないのでしょうか。

生涯現役で努力

これまで、45年間の歩みを中心に、その過程で学んだこと、感じたことを取り上げてきました。技術・技能は夢を現実にするために不可欠なものです。昔は、空を飛びたい。宇宙に行きたいということは夢でしたが、今は実現しています。今、将来の夢を描けば、そのうちのいくつかは実現すると思います。そして、そこには必ず新たな技術・技能と夢実現のために奮闘、努力する熟練した技能者の存在が見られるはずです。

私自身は体の動く限り、生涯現役で努力する覚悟である。そのためには体調をベストコンディションに保つ努力をしています。また、その日にやらなければならないことは先送りしないように努めています。そして、これから活躍する若い人たちのバックアップを少しでもできれば幸いです。（聞き手：鈴木 重信）



稲垣滄水会副会長（中央左）、服部同副会長（同右）と記念写真におさまる滄水会賞受賞者たち（平成16年度卒業式＝杜のホールはしもと 2005/03/18）

滄水会賞受賞者 決まる!!

滄水会創立30周年を記念して本会によって創設された「滄水会賞」は、今年で11回目を迎える。この賞は、在学中に優秀な成績を修めた卒業生を顕彰して、各科1名が表彰されている。各科から推薦を受けた候補者は滄水会理事と校長らによる審査委員会を経て決定される。授賞式は毎年の卒業式の中で行われ、毎回、滄水会会長から表彰状と副賞の盾が授与されている。

今年の受賞者は卒業式当日明らかにされるが、過去2年間は

下表の通り。受賞者のみならず、すべての卒業生のご活躍と社会への貢献を、滄水会会員一同心より祈念しております。

滄水会賞受賞者（過去2年間）

	平成16年度（第10回）	平成15年度（第9回）
産業機械工学科	那須 洋祐	リッキー・エルソン
生産機械工学科	渡部 賢太郎	長谷 亜蘭
電気工学科	藤田 真宣	北本 和也
電子工学科	青木 達也	藤社 悦史
情報工学科	川田 純也	松崎 加奈子
建築工学科	山上 宏明	林 美奈子
造形工学科	水迫 知久	カロリン・クリスヤンティカ
福祉工学科	川合 恵子	青木 隆雄

事務局だより

●終身会費納入のお願い-----



滄水会の活動費用は、終身会費（1人10,000円）と次項で述べる維持寄付に依存しています。終身会費は卒業時に一度だけ徴収され、しかもここ10年間は据え置かれたままです。事務局では経費削減に努めておりますが、通信連絡費・印刷費などの増加により会員数の増加に追いつかず、会をスムーズに維持していくことが困難な状況となっております。

会費未納の方には払込取扱用紙を同封しましたので、終身会費を払い込み頂くようお願いいたします。

●維持寄付のお願い-----

滄水会では、会員資格20年ごとに滄水会維持発展のために維持寄付をお願いしております。20年目の節目に、是非滄水会を盛り上げていただきたく、ご寄付をお願い申し上げます。

勝手ながら、維持寄付依頼対象者は「**85年(21回卒業)の会員までの方**」となっております。該当の会員には払込取扱用紙を同封いたしましたので、次の要領で払い込みくださいますようお願いいたします。

維持寄付金：一口 5,000円

（できるだけ2口以上でお願いします）

払い込み方法：同封の払込取扱用紙をご利用の上、最寄りの郵便局から払い込みください。

ご注意：「会費未納の方」で、かつ「維持寄付依頼対象者」には、2通の払込取扱用紙が同封されております。

●個人情報の管理と名簿発行について-----

個人情報とは、個人を識別できる情報で、利用者の氏名、年齢、住所、電話番号、勤務先、E-mailアドレス等や、事務局への問い合わせ等の情報を指します。滄水会事務局ではこれらの個人情報を適切に管理しつつ、名簿発行の準備をすすめております。

◎個人情報の管理業務委託契約

個人情報保護管理規定に基づき、安全にかつ適正に情報管理を行い有効に活用するために、情報管理業務委託業者と委託契約を締結いたしました。契約業者は以下のとおりです。

株式会社 廣済堂 データベース部

〒105-0014 東京都港区芝3-4-12

TEL：03 - 5427- 8020

この契約締結により、会員各位の個人情報の保護については法令に照らして適切に管理されることになります。なお、個人情報保護管理規定の詳細については、今後も「滄水会ニュース」や「滄水会ホームページ」を通じて会員各位に周知していく予定です。

◎Web「e - 同窓会」の活用方法

株式会社廣済堂（以下、廣済堂と記載）はそのホームページ上<http://www.e-dousoukai.com/>で「e-同窓会」というサイトを展開し、便宜を図っており、本会員はこれを利用することができます。以下にQ&Aで示します。

●個人データを修正したい

会員本人の個人データを修正する方法には、①「e-同窓会」を通じて行う方法と、②事務局を通じて行う方法とがあります。

まず、①で個人情報を修正する場合、本人確認が必要となります。訂正指示書に切手200円分を添えて、必要書類を同封の上、廣済堂に郵送にてお知らせください。詳細につきましてはe-同窓会サイトをご覧ください。

②の場合、このあとで述べる「滄水会会員調査票」に必要事項をご記入の上、FAXあるいは書面にて事務局にお送り下さい。個人情報保護規定に従って廣済堂に郵送致します。

●同窓会の開催通知を同期生に送りたい

同窓会で旧交を暖めたいとお考えの卒業生も多いと思います。同窓会の開催を各会員に連絡する場合には、個人情報保護規定に従い、次の手順で行って下さい。



注) 廣済堂では電子媒体での提供は致しません。また、住所ラベル、リストの作成等に関わる諸経費は、申請者の負担となります。

●自分以外の会員の個人データを知りたい

会員個人からメール、電話等による会員データに関する問合せは次の範囲で対応致します。

問合せされる方が卒業生であること(氏名、住所、卒業年次等)を確認の上、被照会者に問い合わせの内容に関して確認致します。被照会者が同意した内容に限り廣済堂を通じて書面にて回答します。その際の諸経費は、問合せの方にご負担いただきます。また、問合せ内容も記録、保存させていただきます。

「e- 同窓会」ホームページ (<http://www.e-dousoukai.com/>) にアクセスしてみよう

◎ 調査票をご返送ください

2005年秋に予定していました滄水会名簿の発行は、「個人情報の保護に関する法律」の施行により、滄水会通常総会(2ページ参照)において休止することが承認されました。

しかし、職業能力開発総合大学校の存在意義を考えますと、同窓生の動向を認知し滄水会会員相互の情報を共有することは、公益性のある事業実施団体や民間の法人組織に在籍

し、広く雇用開発や能力開発に関連する業務に従事する同窓生にとって必要であると考えられます。また、会員の正確な情報は滄水会ホームページなどWeb上のコンテンツ作成



の点からも必要なものとなります。滄水会名簿発行のための情報収集はこのような重要かつ有益な情報提供を可能にするものです。このため、法令等を遵守した上で名簿の発行を再開するべく検討を重ねてまいりました。

第一の問題は、名簿に記載されている情報の信頼性を高めることです。現在、会員住所の捕捉率は低下し続けており、「滄水会ニュース」や「通常総会の案内」を郵送しますと、約50%が住所不明で返送されてきます。この度の廣済堂との情報管理業務委託契約の締結によって、個人情報の管理と運営が安全に行えます。

第二に、「個人情報の保護」を最優先にしつつ会員情報を収集するため、下記のような《滄水会個人情報保護規定》を設けました。この規定に基づき、滄水会事務局が収集した個人情報は会員に不利益が生じないように保護されます。

《滄水会個人情報保護規定》

滄水会では、以下の方針に基づき、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことに努めます。

1. 個人情報の取得

個人情報を取得する場合は、使用目的を明確に開示して適正に取得いたします。

2. 個人情報の利用

個人情報を利用する場合は、本人の同意を得た範囲内で利用し、あらかじめ本人の同意を得ることなく第三者への提供および開示は行いません。

3. 個人情報の訂正および開示

個人情報に対し、本人から開示、訂正または削除を求められた場合は、必要に応じて対応いたします。

4. 個人情報の安全措置

個人情報の漏洩、改ざん、破壊、紛失および不正アクセスの防止のため、適正な安全対策を講じます。

5. 委託先の指導および管理

個人情報の取り扱いを含む業務を第三者に委託する場合は、個人情報の適正な取り扱いのために適切な指導および監督を行います。

6. 法令等の遵守

個人情報の重要性を認識し、個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守いたします。

【保有個人データの利用目的】

- ・会報の送付
- ・会費等の納入、連絡先等の確認
- ・会員問い合わせの対応
- ・会員名簿の発行
- ・通常総会の案内

これらの保護対策を講じた上で、会員情報を収集するため、「滄水会会員調査票」を同封しました。これにもれなく記載して返送していただくことによって確度の高い名簿を発行することができ、何よりも会員個人にとっては種々の有益な情報を得ることができます。さらに、在校生にとっては強力な就職情報源になります。

春先の異動を考慮して、締切りを2006年4月20日(木)とさせていただきます。会員各位におかれましてはご賢察・ご高配いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

お願い：「滄水会会員調査票」に必要事項を記入の上、必ずご返送ください。



都市=URBANを創るNETWORK。それが、
URBANET=アーバネットコーポレーションです。

第10期建築科卒



株式会社アーバネットコーポレーション

代表取締役 服部 信治

〒102-0084 東京都千代田区二番町5-6

あいおい損保二番町ビル7階

TEL : 03-3512-5111

URL : <http://www.urbanet.jp>

《編集後記》 2007年の大学全入時代を待つまでもなく、大学校の運営は厳しさを増しています。運営母体である雇用・能力開発機構の独立行政法人化にともない、組織の見直しが厳しく行われております。とくに総合大は「指導員養成」という目的に限って設置・運営が許された大学校であって、これがなくなれば一夜にして存在価値を失うことになります。そうならないためには産業界や職業訓練界、とりわけ卒業生の応援が必要不可欠です。滄水会会員におかれましては、母校の存続と発展を力強く応援していただきますよう、心よりお願い申し上げます。

発行日：2006/03/31 発行者：滄水会会長 小部 博志

編集委員：磯野宏秋、山下陽一郎、菊池真、池田知純、川上善嗣

滄水会ニュース 第18号

〒229-1196 神奈川県相模原市橋本台4-1-1

職業能力開発総合大学校内 滄水会事務局

FAX 042-763-9267

E-mail sousuikai@uitec.ac.jp